

英米文学 専攻 (博士前期)

試験科目: 専門科目 (文学研究の基礎)

I

1 (i) 不規則な弱強五歩格 (ii) 決まった詩型を持たない自由詩

2 Matthew Arnold "Dover Beach"

3 (解答例) The Sea of Faithは隠喩 (metaphor) であり、宗教的信念の状況を潮の様子であらわしている。海が、Sophoclesが聞いた人間の苦悩と共鳴しているかのように擬人化されている。

4 ドーヴァーの岸辺で月光に照らされる海を眺める語り手が、波音に「悲哀の響き」を聞き取り、かつて世界を覆っていた「信仰の海」が引いて「混乱と戦争」が残ることを感じる。語り手は愛する人にせめて「お互いに誠実であろう」と呼びかける。この詩の意義と歴史的重要性は、19世紀半ばに、ダーウィンの進化論や科学技術の発展により、キリスト教的価値観が揺さぶられて起きた信仰の危機を象徴する詩であるところにあると言われている。

II

1 Pygmalion

2 Leviathan

3 Sphinx

4 Pathetic Fallacy

5 Stoics

6 Helen of Troy

7 Hermaphroditus

8 satire

9 courtly love

10 Salome

11 allegory

12 Medusa

13 Styx

14 catharsis

15 sublime

A テーベの王ライオスは「お前は息子の手によって死ぬ」との神託を受けたため、息子オイディプスが誕生した際に、その殺害を命じる。キタイロン山に捨てられたオイディプスは羊飼いに命を助けられ、自分の親が誰かを知らずに育ち、後にライオスを殺す。オイディプスはテーベへ行き、地域の民を脅かしていたスフィンクスを殺し、報酬として、未亡人となっていた王妃（実は自分の母）を与えられる。

B The Metamorphoses; the Amores; the Fasti などのいずれか

C Swift など

英米文学専攻 (博士前期)

試験科目：専門科目 (イギリス文学I)

①著者名	作品名
A ( John Donne )	( "The Flea," 1633 )
B ( Anonymous )	( <i>Sir Gawain and the Green Knight</i> , 1390 )
C ( Richard Brinsley Sheridan )	( <i>The School for Scandal</i> , 1777 )
D ( John Bunyan )	( <i>The Pilgrim's Progress</i> , 1678 )
E ( William Shakespeare )	( <i>As You Like It</i> , 1599 )

② ( B ) → ( E ) → ( A ) → ( D ) → ( C )

③ A ( 1 ) B ( 3 ) C ( 2 ) D ( 5 ) E ( 4 )

④

(1) conceit (奇想) 17世紀の形而上詩 (Metaphysical poetry) に特徴的な、一見無関係な事物を結びつける奇抜で知的な比喩のこと。John Donne の *The Flea* (Text A) では、男女の血を吸った「蚤」という小さな存在を、二人が結ばれる「結婚の神殿」や「交わり」に見立てるといふ、大胆かつ論理的な奇想が用いられている。

(2) the comedy of manners (風習喜劇) 特定の社会階級 (主に上流階級) の作法、洗練さ、あるいはその裏にある虚栄や偽善を、機知 (wit) に富んだ会話を通して風刺的に描く喜劇。18世紀の Richard Brinsley Sheridan による *The School for Scandal* (Text C) はその傑作であり、引用部では年老いた夫と若い妻の不仲や口論がコミカルに描かれている。

(3) a tale of chivalry (騎士道物語) 中世ヨーロッパで流行した、騎士の武勇、恋愛、冒険を主題とする物語 (ロマンス)。Anonymous による *Sir Gawain and the Green Knight* (Text B) はアーサー王伝説に属し、キャメロットでの祝宴や槍試合といった騎士社会の華やかな描写から物語が始まる。

(4) *Theatrum mundi* (世界劇場) 「世界は一つの舞台であり、人間はそこで役割を演じる役者に過ぎない」というメタファーであり、その源流はプラトンらの古代哲学やストア派思想などにさかのぼり、中世以降 *theatrum mundi* というトポスとして定式化された。William Shakespeare の *As You Like It* におけるジェイクィズの台詞 "All the world's a stage..." は、この概念を最も有名に表現したものであり、人の一生を七つの場面 (Seven Ages of Man) として描写している。

(5) **allegory** (寓意) 物語の登場人物や出来事が、それそのものの意味だけでなく、道徳的・宗教的な抽象概念を象徴している表現技法。John Bunyan の *The Pilgrim's Progress* (Text D) は代表的な寓意物語であり、主人公クリスチャンが「重荷 (罪)」を背負い、「この世という荒野」から天の都を目指して旅をする姿を通して、キリスト教徒の魂の救済過程を描いている。

⑤ 文章の大意 (訳を挙げておくので、これに基づき、大意を提示すること)

A: この蚤 (ノミ) をよく見ておくれ。あなたが私に拒んでいるもの (処女喪失) がいかに些細なことか、この蚤を見ればわかる。こいつはまず私を吸い、今度はあなたを吸った。この蚤の中で私たちの血は混じり合っているのだ。あなたは知っているはずだ、これが罪でも恥でもないし、操を失うことでもないことを。それなのに蚤は求愛することなく楽しみ、二人の血で腹を膨らませている。ああ、これは私たちがしようとしていること以上のことなのだ。

B: クリスマス、アーサー王はキャメロットにいた。比類なき君主たちや、円卓の騎士の全高貴な一団を従えて。王はここで実に王らしく、悩みもなく陽気に、盛大な祝宴を催していた。高貴な生まれの紳士である騎士たちの一団は、ある時は喜び勇んで馬上槍試合に興じ、ある時は宮廷に戻って歌に合わせて舞踏を楽しんでいた。

C: 老いた独身男が若い妻を娶るとき、何を期待すればよいというのか? ティーゼル夫人が私を「世界一幸せな男」にしてくれてから、今や6ヶ月が経つ——だがそれ以来、私は結婚生活という過ちを犯したあらゆる人間の中で、最も惨めな犬のような有様だ! 私たちは教会へ向かう道すがら少々いさかいをし、鐘が鳴り止む前にはもう口論になっていた。新婚旅行の間、私は一度ならず苦々しきで息が詰まりそうになったし、友人たちが私への祝福の言葉を言い終わる前にはもう、人生のあらゆる安らぎを失ってしまっていたのだ!

D: この世という荒野を歩き回っているうちに、私はある洞穴のある場所に行き着いた。そこで私は身を横たえて眠りについた。そして眠るうちに、私は一つの夢を見た。夢の中で——見よ、一人の男がぼろをまとい、ある場所に立っているのが見えた。彼は自分の家の方から顔を背け、手には一冊の書物を持ち、背中には大きな重荷を負っていた。

E: この世はすべてひとつの舞台、男も女もみな、ただの役者にすぎない。彼らにはそれぞれ退場があり、また登場がある。人はその生涯において多くの役を演じ、その全幕は七つの時代からなる。最初は赤ん坊、乳母の腕の中で泣きじゃくり、乳を吐いている。その次は泣き言ばかりの学生だ。鞆をさげ、朝の洗いざらしの顔を輝かせ、学校に行くのが嫌で、カタツムリのようにノロノロと歩いていく。

英米文学専攻 (博士前期)

試験科目: 専門科目 (イギリス文学 II)

## I. \* D、Fについては、ここに挙げた解答に限らない

A	B: 作品名	C: country house	D: 登場人物	E: 作家名	F: 他作品
	<i>Howards End</i>	<b>Howards End</b>	Margaret Schlegel	<b>E. M. Forster</b>	<i>A Room with a View</i>
	<i>Atonement</i>	Tallis House	Briony Tallis	<b>Ian McEwan</b>	<i>Saturday, Amsterdam</i>
	<i>The Woman in White</i>	Limmeridge House	Count Fosco	<b>Wilkie Collins</b>	<i>The Moonstone</i>
	<i>Brideshead Revisited</i>	Brideshead Castle	<b>Sebastian Flyte</b>	<b>Evelyn Waugh</b>	<i>Decline and Fall</i>
	<i>Pride and Prejudice</i>	Pemberley	<b>Elizabeth Bennet</b>	<b>Jane Austen</b>	<i>Sense and Sensibility</i>
3	<i>Bleak House</i>	<b>Bleak House</b>	John Jarndyce	<b>Charles Dickens</b>	<i>Great Expectations</i>
	<i>The Remains of the Day</i>	Darlington Hall	Mr. Stevens	<b>Kazuo Ishiguro</b>	<i>A Pale View of Hills</i>
	<i>Jane Eyre</i>	Thornfield Hall	<b>Edward Rochester</b>	<b>Charlotte Brontë</b>	<i>Villette</i>

## II.

1	1837	2	P. B. Shelley, John Keats, etc.	3	imagination
4	belatedness and distance	5	<i>Culture and Anarchy</i>	6	William Wordsworth
7	The Lady of Shalott	8	<i>Tess of the d'Urbervilles</i> etc.	9	nightingale

## III.

## 1. T. S. Eliot

1922年に、Eliotが主宰する雑誌 *Criterion* に発表。神話や聖書、民俗学や人類学の研究、古今の文学など、長きにわたる西欧文明のモチーフをコラージュのようにつなぎ合わせ、第一次大戦後の荒廃はその長い歴史と伝統の結果であることを示すと同時に、その荒廃からの再生を表現したモダニズム詩の金字塔的作品。

## 2. Joseph Conrad

中央アフリカの植民地を舞台に、コンゴの奥地に行き着いた蒸気船の船長 Marlow が、そこで神のごとく君臨したかつての駐在員 Kurtz の悲惨な死に際を目撃する。植民地支配の醜悪さを暴き出した作品。語りに入れ子構造と、Marlow を視点人物として人物の内面を浮かびあがらせようとする手法は、モダニズム文学につながる新しさを秘めている。

## 3. Jean Rhys

*Jane Eyre* を下敷きとしたポスト・モダン小説。 *Jane Eyre* において声を奪われていた Bertha Mason を Antoinette Cosway という名のクレオール女性として主人公に据え、ジャマイカを舞台に、彼女と彼女のイギリス人の夫 Rochester の関係を描いた本作は、20世紀末から主としてポストコロニアル批評とフェミニズム批評によって一気に評価が高まった。

英米文学専攻 (博士前期)

試験科目：第 外国語 ( ) / 専門科目 ( )

作者名	作品名
1 Ralph Waldo Emerson	“Nature”
2 F. Scott Fitzgerald	<i>The Great Gatsby</i>
3 Henry James	<i>The Turn of the Screw</i>
4 Emily Dickinson	
5 Ernest Hemingway	<i>A Farewell to Arms</i>
6 Henry David Thoreau	<i>Walden</i>
7 Herman Melville	“Bartleby, the Scrivener”
8 Edgar Allan Poe	“The Raven”
9 Washington Irving	“Rip Van Winkle”
10 Jack Kerouac	<i>On the Road</i>

## II

### 解答例

- 1) F. O. マシーセンによって規定された19世紀半ばのアメリカ文学の新しい潮流。エマソン、ソーロー、ホーソーン、メルヴィル、ホイットマンといった作家・詩人が超越主義やロマン主義を深く追求することでヨーロッパから脱却したアメリカ独自の文学を確立した。
- 2) 小説などにおいてそのものが虚構であることを意識的・自己言及的に読者に喚起するような手法。20世紀後半に文学批評で指摘されて注目を集めたが、セルバンテスの『ドン・キホーテ』などの作品にその起源があるとされる。
- 3) 「明白なる使命」と訳され、19世紀半ばにジャーナリストが使って以来アメリカ来の西部開拓を正当化する用語として定着した。「文明の西漸説」に基づいたアメリカ的文明観で、マーガレット・フラーなどの女性作家の作品には疑問が呈されることもある。
- 4) 哲学者ジョージ・サンタヤーナが使った概念で、19世紀後半を席卷した「お上品な伝統」として、洗練されてはいても保守的で停滞しまったような文化的・文学的傾向。小説家・詩人のサラ・オーン・ジュエットなどがその典型。
- 5) 文学と自然環境、つまり人間的要素と人間以外の要素の関係を研究する批評。20世紀後半からの環境問題への関心の高まりから生まれて、小説や詩のみならずノンフィクションや写真、映画も対象とする。

英米文学専攻 (博士前期)

試験科目： 専門科目 (英語学)

I

- (1) ローマ軍がブリテン島から撤収した後、残されたブリトン人たち（ローマ化されたケルト人）は北からのピクト人やスコット人たちと戦うことができず、援軍として海を挟んだ大陸からジュート人らのゲルマン民族を招き、後にブリテン島に定住するようになった。
- (2) ローマ軍の「陣営」を意味するcastraから生じたもの（Lancaster）、陣営を結ぶ「舗装道路」たるstrataに由来するもの（Stratford）、「港」のportから来たもの（Portsmouth）など。
- (3) MacDonaldのMac-やO'BrienのO'-などはいずれも「～の息子」を意味する。
- (4) 18世紀後半以降に登場した規範的な辞書（ジョンソン博士の『英語辞典』）や文法書（リンドレー・マレーの『英文法』など）により、英語における「標準」の概念が確立された。
- (5) （ゲルマン民族の一派であった）アングル人の言葉。
- (6) mass, hymn, angel, candleなどの修道院用語、cap, sock, silkやschool, master, grammaticなどの修道院生活に由来するキリスト教用語。
- (7) 両者ともゲルマン語から派生した言語であるから（古ノルド語は北ゲルマン語、英語は西ゲルマン語）。
- (8) sky, ill, getなどの日常語やthey, till, thoughなどの形式語（機能語）が借用語として取り入れられたほか、語尾変化の簡素化や文法的性の消滅を促進した。
- (9) エドワード証聖王の死後、その従妹である北フランスのノルマンディー公ウィリアムが、貴族に選ばれたハロルドに勝利し、イギリス王となった事件。
- (10) 英語は言葉に保守的でない非支配階級の言語となったため、文法関係を語尾変化ではなく前置詞などで示す分析的言語となり、また多くのフランス語が借入語として使われる混合語となった。

II

ME (参考訳)



(笹本長敬訳、『カンタベリー物語 (全訳)』、英宝社、3頁)

OE (参考訳)



(苅部恒徳、小山良一編著、『古英語叙事詩ベーオウルフ対訳版』、研究社、3頁)

英米文学専攻 (博士前期)  
試験科目：第一外国語 (英文和訳)

(1)

(2)

(3)

英米文学専攻 (博士前期)  
試験科目：第一外国語 (和文英訳)

(1)

(2)

(3)

英米文学専攻 (博士前期)  
試験科目: 第二外国語 (独文和訳)

